

■ 英語コミュニケーション能力の養成

Reading I・II ①①

単語力のアップを図り長文読解のコツをつかむ

英語を運用するには「読む、書く、話す、聴く」の4つの技能が必要となりますが、情報化社会においては、特に正しく読んで伝えることが求められます。「読む」能力の養成は、英語の運用力の向上に不可欠です。

Writing III・IV ①①

パラグラフの構造とルールを学び論理的に書く

文法的に適切な文を書くという段階から一歩進んで、パラグラフ・ライティングの基礎を学びます。また、学習したパラグラフ・ライティングの知識をもとに、まとまりのある文章を書く事を目指します。

Speaking I・II ②②

正しい英語を使ってコミュニケーションする

毎回の授業において、構文に関連づけながら、英語の新しい語彙とフレーズを学習します。そして学習した構文を使いながら、正しい英語を使用したコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

Essay Writing ②

英語力を活用してエッセイを書く

エッセイの作成には3つの段階があります。第1段階ではアイデアと構成、第2段階では文法とスペル、第3段階では原稿の完成として、エッセイの作成方法を学びます。各段階で指導を受けながら完成を目指します。

ビジネス英語 ②

国際ビジネスで使う英語を学び、活用する

様々な場面に応じて、ビジネスに活かせる英語の技能を学びます。リスニング演習を通して基本的なビジネス用語、日本語と英語の表現方法の違い、ビジネスの常識とマナーなど、ビジネスに関わる多くの事柄を理解します。

Grammar I・II ②②

規範的な文法の仕組みを理解し分析・応用する

教科書による規範的な文法を学習し、使用例を記述的に分析します。文法事項をもとに話者が誰に、いつ、どのように、何を伝えたかったのかという背景を理解し、文法知識と総合的な英語運用能力の向上を目指します。

Listening I・II ①①

語彙や文法を発声情報に結びつけて活用する

語彙・文法の知識を「聞く」力へ結びつける訓練を音声および映像教材を活用して行います。また、個々の単語や文だけでなく、話の流れや文脈に注目して、連続した文章を音声で把握し、内容把握に努めます。

Public Speaking I・II ①①

より豊かな英語のコミュニケーションを目指す

自分の考えをどのようにして整理して英語で表現するか、スピーチを書いて発表する際には何が重要か、ボディランゲージや声の強弱、表現をどう使用するかを考え、独自のスピーチを発表することを目指します。

Media Topic English ①

英語のメディアを理解し楽しむ

英語圏の国の音楽にはどのようなメッセージがあるでしょうか。また、テレビやSNS、ニュースで人気の話題は何でしょうか。英語のマスメディアにおける最近のトピックや登場人物を通して、自分の視点で考えます。

検定英語演習 I・II ①①

英語検定試験合格を目指す

英語力を必要とする社会が評価する基準の一つとして英検があります。この演習を通じて、あいまいな英文法の知識を精査し、一人ひとりの語彙力(熟語を含む)アップとリスニング力アップで、英検合格を目指します。

Writing I・II ①①

日本語の内容、自分の考えを正しい英文で書く

基礎的な英文を書く能力の養成を目的とします。基本的な語句や構文の学習と自由英作文により、英語らしい表現で文章を書くことができるようになります。また、自分の考えを正確に伝える英文を書くことを目指します。

Pronunciation I・II ①①

ネイティブ・スピーカーに通じる発音を目指す

ネイティブ・スピーカーに誤解されない発音を目指すとともに、ネイティブ・スピーカーの発音を聞き取るうえで注意すべき音声パターンを学習します。特に英語の子音と母音を学び、より英語らしい発音を目指します。

Debate & Discussion ②

自分の意見をもって英語で討論する

自分の意見を表現する方法、他人の意見に対して賛成・反対する手法を学び、また他人の意見に理由付けやサポートする方法を学びます。これらの技術を使用した会話、ディスカッション、基本的な議論を行います。

English Through Films ①

色々なジャンルの映画を観て意見交換する

映画を観ることを通じて英語を理解し、意見交換します。前半は、毎週映画の一部について要約を書いて発表することにより、ストーリーと登場人物に着目します。後半は、音楽、名声、家族、および社会問題に着目します。

■ 英語と英語圏文化の理解

〈文化とその背景〉

イギリス史 ②

歴史・文化を学び、現代の諸問題を考える

イギリス史の大まかな流れと、いくつかの重要事項を確認します。そのことを通じて、「イギリス文化」とされるものが不変不動の存在ではなく、むしろ歴史の変遷過程の中で形作られてきたという点を理解します。

アメリカ史 ②

資料から歴史を学び、現代の諸問題を考える

なぜアメリカ史を学ぶのかについて説明した後、植民地時代から20世紀までのアメリカの歴史を振り返ります。政治に限らず、経済・社会・文化等の幅広い視点から考察します。

英語圏文化研究 A ②

文化作品を通してイギリスの文化を理解する

イギリス文学史の中で取り上げられることが少ない「ファンタジー」と「ミステリー」を題材にして、イギリスの文化を学びます。歴史的背景や各ジャンルの特徴を知ったうえで、作品に描かれるイギリスの文化を紹介します。

英語圏文化研究 B ②

文化作品を通してアメリカの文化を理解する

「音楽」「絵画」「文学」「映画」を中心に、多民族国家で展開される様々な表現を通して、アメリカの社会、文化とその歴史について学びます。映像資料や英語の歌詞、文学作品の英語表現を通して解説します。

英語史 ②

英語の成り立ちを学び古英語由来の表現を知る

英語史の知識は、英文学・英語学においてのみならず、日常的な英語を学ぶ際にも不可欠です。英語史の知識があっても、初めて理解できる表現もあります。言語の歴史をイギリスの社会的・文化的背景を眺めながら学びます。

英語学 ②

言語表現の差異から英語と日本語の違いを学ぶ

すべての言語表現は、述べられた対象の表現であるとともに、述べている認識・表現者についての表現でもあるとする「認知言語学」の考えに基づき、日本語の事例と比較しながら英語という言語について考察します。

〈英米文学の世界〉

英米小説講読 ②

英文小説の原文を読み、ストーリーを推測する

英語で書かれた小説を読むことを通じて、実用的な英語とは異なる文章に慣れ、同時に文学作品への愛着を育みます。授業では音読を重視し、日本語と英語の文章構造の違いを意識しながら精読を心がけ、翻訳に挑戦します。

英米エッセイ講読 ②

エッセイを読み、筆者のメッセージを読み取る

英文エッセイを日本語に翻訳しながら正確に読む「精読」と、英文のまま大意を把握する「多読」を組み合わせ、筆者が伝えようとするメッセージを読み取ります。英文の音読やグループディスカッションも行います。

英米詩講読 ②

英語で書かれた詩を鑑賞する力を身につける

英語で書かれた詩や英米の人々に愛され、歌い継がれてきた曲の歌詞などを鑑賞しながら、詩の表現する世界の豊かさを味わいます。1篇の詩や歌詞における表現の問題、時代や文化的背景など様々な角度から読み取ります。

イギリス文学史 I・II ②②

作品の時代背景を理解できる教養を身につける

イギリスの歴史を辿りながら、詩、演劇、小説など様々な文学ジャンルがどのように生まれ、発展していったかを学びます。各時代の歴史の流れを知ったうえで、代表的な作家の作品を原文で読み、映像で観賞します。

アメリカ文学史 I・II ②②

歴史や文化、社会を学び、異文化理解を深める

アメリカ文学の歴史を具体的な作品や映像化された作品に触れながら学びます。様々な考え方や価値観について理解を深め、それぞれの作家や詩人の書き残したものが、私たちにとってどのような意味があるのかを探ります。



■ 研究科目

専門ゼミナール ②

深く追究したいテーマを選び、調査・研究に取り組む

学生一人ひとりが興味のある分野のゼミに所属し、それぞれのテーマを探究します。また1年間の専門ゼミを通して、自己表現方法やコミュニケーション能力も磨き、課題研究にも取り組みます。

卒業研究 ①

2年間の学修の集大成として、研究・分析結果をまとめあげる

専門ゼミごとに個人あるいはグループ単位でテーマを設定し、それについて研究・分析し、考えをまとめあげ、論文などの形にします。優れた研究成果に対しては、「優秀卒業研究賞」を授与しています。